

2009年度原子力事業所の事業計画概要説明から 4月24日(金)、議会全員協議会

安全協定第5条に係る新增設計画に 「プルサーマル計画」

24日開かれた議会全協では、事前配布の村内各事業所の「2009年度事業計画概要」にもとづき、(独)日本原子力研究開発機構及び日本原子力発電東海・東海第二発電所から説明がありました。また、追加説明として、三菱原子燃料株式会社から「トリクロロエチレン環境自主調査中間報告」に関する説明がありました。

2. 安全協定第5条に係る新增設計画 (日本原電、計画概要から抜粋)

(2)東海第二発電所

- 1)原子炉再循環流量制御方式の変更
- 2)出力向上計画

3)プルサーマル計画

使用済み燃料を再処理し、回収したプルトニウムとウランを混合して製造するMOX燃料を利用するプルサーマル計画について、地域の皆様のご理解を得られるよう努力しながら、取り組んでまいります。

4)主蒸気隔離弁漏えい抑制系の機能廃止

[日本共産党会派の考え方]

現在運転されている軽水炉はすべて、ウラン燃料を使用するよう設計されています。原子炉を安全に制御、運転するには、中性子物理的挙動(核分裂反応)が安定していることが欠かせませんが、MOX燃料が使用されれば、ウランとプルトニウムでは核特性が大きく異なるため、原子炉停止の反応度の余裕が小さくなるなど、安全上マイナスとなります。(もともと設計に含まれている安全上の余裕が減少させられる)

MOX燃料を使用することは設計上考慮されている小さな反応度事故などが、大きな事故へと発展する危険性が大きく、原子炉の制御がむずかしくなり、大事故の可能性も高くなります。いったん事故が起きれば、放射性的猛毒であるプルトニウムの影響は甚大なものとなります。

2009年 憲法フェスティバルに行きませんか？ 産廃反対住民の会で署名と模擬店出店
5月3日(日):憲法記念日 10時～15時半 水戸市千波公園はなみずき広場

おくりびと 観ましたか。どうでしたか？



昨日29日、東海文化センターで上映された「おくりびと」を観ました。午前中は実家の留守番だったため、午後の部を観ました。

はじめ、アハハと声が出てしまうほど笑う場面が多かったのですが、中間からは、やはり作品に観客をひきつける力があるな！と感じ、終盤は不覚にも涙がほほを伝っていました。

チラシに書いてあった「すべての人に普遍的なテーマを通して、夫婦の愛、わが子への無償の愛、父や母、家族への想い、友情や仕事への矜持などを描き出す本作は、観るものに笑いとお涙、そして大きな感動を、必ずや与えてくれることでしょう。ユーモアと感動が融和した異色作、納棺師の物語が私たちに、さまざまな愛を届けてくれます！」は、しっかりと届いたのを感じました。